

令和7年度 事後評価シート

施策	10子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供
K G I	①将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学校 【基準値】82.7%（令和4年度）【目標値】86.2% ②将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学校 【基準値】70.3%（令和4年度）【目標値】70.4% ③受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 小学校 【基準値】80.4%（令和4年度）【目標値】85.9% ④受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 中学校 【基準値】75.2%（令和4年度）【目標値】82.4% ⑤県立高校における夢や目標を持っている生徒の割合 【基準値】81.9%（令和4年度）【目標値】84.0% ⑥県立高校における生徒の教育内容満足度 【基準値】84.7%（令和4年度）【目標値】87.0%

【細施策シート】

策シート】

							担当部局	教育委員会		
細 施 策	10_03	夢を実現する学力・技術力の保障					施策KGI	⑤・⑥		
K G I	各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合									
	KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	84.7 %	目標値	87 %	目標値	89 %	目標値	91 %
	基準値	84.7 %	実績値	84.7 %	実績値	82.7 %	実績値	83.8 %	実績値	%
			達成率	100 %	達成率	95.1 %	達成率	94.2 %	達成率	%
	ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価	順調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	
7 年 度	要因分析 【必須】	「ソーシャルチャレンジ for High School事業」や各校での課題研究等において、発表や意見発信の機会を増やす取組が進められたことにより、生徒が学習内容を整理し、自分の考えを表現する経験が拡充され、8割を超える高い水準を維持するとともに、前年度から1.1ポイント増加したが、「みらいの学びプログラミング教育推進事業」において、生徒の多くがプログラミングで課題を解決しているという実感を持っていないことが、目標達成に至らなかった一因と考える。								
	見直し方向性 【必須】	今後は、成果発表の機会をさらに充実させるとともに、特定の生徒に偏ることなく、より多くの生徒が主体的に学びを振り返り、考えをまとめて発信できる取組を進める必要があるため、各事業において、発表や振り返りの機会を計画的に取り入れるとともに、各校においても教科等横断的な発表活動や校内発表の機会を継続的に確保できるよう検討する。								